



Environmental Report

環境活動レポート

2012年10月～2013年9月

明京電機株式会社

1.	組織の概要	2/15
	■ 事業所名及び代表者 ■ 所在地 ■ 環境管理責任者及び担当者 ■ 事業内容 ■ 事業規模 ■ Eco Action21 組織図	
2.	対象範囲	4/15
	■ 登録範囲 ■ レポートの対象期間 ■ 発行日	
3.	環境方針	5/15
	■ 基本理念 ■ 活動方針	
4.	環境目標	6/15
5.	環境活動計画	7/15
6.	環境目標の実績	8/15
	■ 環境目標 ■ 統計から見た取組みの実績 ■ 環境活動における社員の声	
7.	環境活動計画の取組結果とその評価	13/15
	■ 23 期（2012 年 10 月～2013 年 9 月まで）の評価 ■ 次年度 24 期（2013 年 10 月～2014 年 9 月まで）の取組内容	
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15/15
9.	代表者による全体評価と見直しの結課	15/15

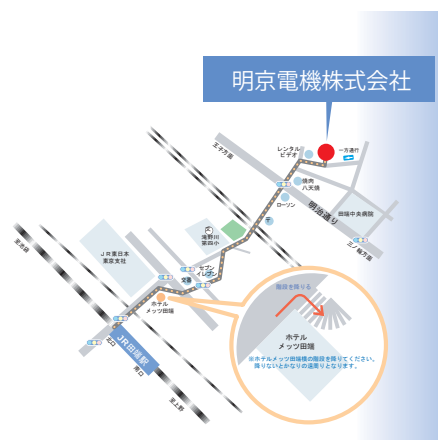
1. 組織の概要

事業所名及び代表者

明京電機株式会社
代表取締役 山田 駿

所在地

東京都荒川区東尾久 4-27-2
電話 03-3810-5580
FAX 03-3810-5546



環境管理責任者及び担当者

管理責任者 寺地辰己
連絡先 電話 03-3810-5580
FAX 03-3810-5546
E-mail terachi@meikyo.co.jp
環境事務局 井上玲子
推進委員 石河 昇

事業内容

遠隔電源制御機器の開発・製造・販売
特殊ハード製品の開発・製造・販売
ソフトウェアの受託開発

事業規模

創立 平成2年
設立 平成2年
資本金 3000万円
年商 220百万円（平成24年度）
従業員 21名（パート含む）
延床面積 149㎡

WATCH BOOT シリーズ



TIME BOOT シリーズ



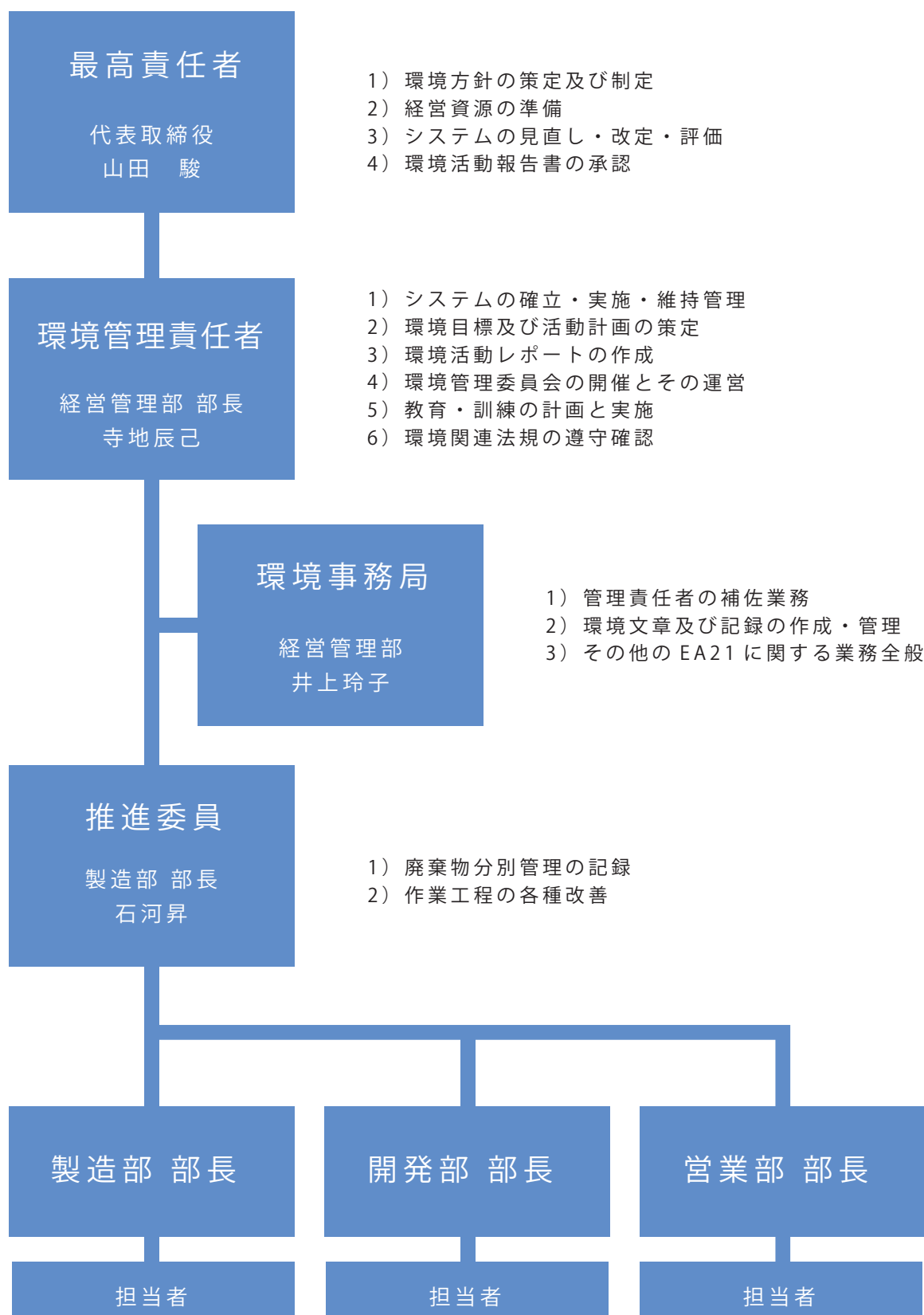
接点入出力制御装置



■オプション



Eco Action21 推進組織図



2. 対象範囲

登録範囲

遠隔電源制御機器の開発・製造および販売

レポートの対象期間

2012 年 10 月 1 日より 2013 年 9 月 30 日まで

発行日

2013 年 10 月 30 日



大切な電気を守るリポーター

3. 環境方針

基本理念

明京電機株式会社は主たる遠隔電源制御製品の開発・製造・販売において「環境貢献を最優先」に促進し、地域社会に貢献するよう全従業員参加の下、継続的改善活動の実施に努めます。

活動方針

1. 「環境汚染の予防と環境保全活動」を実行し、法令順守に努めます。
2. 電力、水等の資源を大切に使い、二酸化炭素の削減および水資源の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクル化に努めます。
4. 化学物質についてはその維持管理に努めます。
5. 提供する製品サービスについては環境に配慮した製品を供給することに努めます。
6. グリーン購入については環境に配慮した資材購入に努めます。
7. 環境方針について全従業員に周知し、環境意識の高揚に努めます。



2011年1月25日
明京電機株式会社

代表取締役 **山田 駿**

4. 環境目標

	23 期実績	23 期目標	24 期目標	25 期目標
	2012 年 10 月 ～ 2013 年 9 月	2012 年 10 月 ～ 2013 年 9 月	2013 年 10 月 ～ 2014 年 9 月	2014 年 10 月 ～ 2015 年 9 月
■二酸化炭素				
電力 (KWh)	20,204	22 期同期間対比 同等目安 (17,686)	23 期実績対比 5%削減目安 (19,194)	24 期同期間対比 同等目安 (19,194)
灯油 (L)	-----	-----	-----	-----
ガソリン (L)	406	22 期同期間対比 同等目安 (387)	23 期実績対比 同等目安 (387)	24 期同期間対比 同等目安 (387)
二酸化炭素 (kg)	9,530 係数 0.425	22 期同期間対比 同等目安 (8,416)	23 期実績対比 5%削減目安 (9,054)	24 期同期間対比 同等目安 (9,054)
■水				
上水 (㎡)	100	22 期同期間対比 同等目安 (108)	23 期実績対比 同等目安 (100)	24 期同期間対比 同等目安 (100)
下水 (㎡)	100	22 期同期間対比 同等目安 (108)	23 期実績対比 同等目安 (100)	24 期同期間対比 同等目安 (100)
■資源				
購入品の削減				
再生紙 (kg)	240	22 期同期間対比 同等目安 (307)	23 期実績対比 同等目安 (240)	24 期同期間対比 同等目安 (240)
梱包材 (kg)	1,756	23 期同期間対比 同等目安 (1,918)	23 期実績対比 同等目安 (1,756)	24 期同期間対比 同等目安 (1,756)
グリーン購入の推進	100%購入	100%購入	100%購入	100%購入
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	2,249	23 期同期間対比 7%削減目安 (1,679)	23 期実績対比 10%削減目安 (2,024)	24 期同期間対比 同等目安 (2,024)
■環境保全				
R o H S 指令	100%遵守	100%遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進	100%遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進	100%遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進

注記：二酸化炭素排出係数は環境省が平成 20 年 12 月 19 日に公表した報道発表資料の中の東京電力の値をその計算出所としています。



5. 環境活動計画

23 期の結果を顧みて 24 期の環境活動計画を以下の通り設定することとした。

■二酸化炭素		活動計画	担当	日程
電力 (KWh)	①定期的な消灯	各部署にて時間を定めて消灯を実施。	1F 井上、2F 渡邊	随時
	②冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。(室温 20℃ 目処)		全員	随時
	夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。(室温 28℃ 目処)		全員	随時
	③PC 電源を未使用時、OFF にすることを励行。		全員	随時
	④コピー機の省エネ使用。		全員	随時
灯油 (L)	外気温度 10 度以下の時に原則ヒーター使用。		渡邊	随時
ガス	外気温度 10 度以下の時に原則ヒーター使用。		山口	随時
ガソリン (L)	外出は極力公共機関を使用。		全員	随時
二酸化炭素 (kg)	-----		-----	-----
■水				
上水 (m³)	①無駄のない水使用励行。		全員	随時
下水 (m³)	①トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底。		全員	随時
■資源				
購入品の削減				
再生紙 (kg)	①両面コピー励行。		全員	随時
	②不必要な F A X のコピー化削減。		全員	随時
	③再生紙を 100%使用。		井上	随時
梱包材 (kg)	①リユースを考慮した梱包材使用推進。		渡邊	随時
	②使用実績を取ることを習慣化する。		渡邊	随時
グリーン購入の推進	環境対応商品マーク（エコマーク）の付いた商品を購入する。		井上	随時
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。		1F 井上、2F 渡邊	随時
■環境保全				
R o H S 指令	①現行の RoHS 対応部品を購入することを継続する。		山口	随時
	②新製品の RoHS 対応はすべて 100%対応とする。		山口	随時
■災害訓練の実施				
	年 2 回、社内における災害訓練を実施する。		寺地	25 年 12 月 26 年 8 月



6. 環境目標の実績

環境目標の実績

23 期（2012 年 10 月から 2013 年 9 月まで）の期間目標に対して、その目標が達成出来た場合には○、目標の達成が出来なかった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×。

	22 期実績	23 期目標	23 期実績	結果
	2011 年 10 月 ～ 2012 年 9 月	2012 年 10 月 ～ 2013 年 9 月	2012 年 10 月 ～ 2013 年 9 月	
■二酸化炭素				
電力 (KWh)	17,686	22 期同期間対比 同等目安 (17,686)	20,204	×
灯油 (L)	-----	-----	-----	
ガソリン (L)	387	22 期同期間対比 同等目安 (387)	406	×
二酸化炭素 (kg)	8,416 係数 0.425	22 期同期間対比 同等目安 (8,416)	9,530	×
■水				
上水 (m³)	108	22 期同期間対比 同等目安 (108)	100	○
下水 (m³)	108	22 期同期間対比 同等目安 (108)	100	○
■資源				
購入品の削減 再生紙 (kg)	307	22 期同期間対比 同等目安 (307)	240	○
梱包材 (kg)	1,918	22 期同期間対比 同等目安 (1,918)	1,756	○
グリーン購入の推進	100%購入	100%購入	100%購入	○
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	1,805	22 期同期間対比 7%削減目安 (1,679)	2,249	×
■環境保全				
R o H S 指令	100%遵守	100%遵守	100%遵守	○

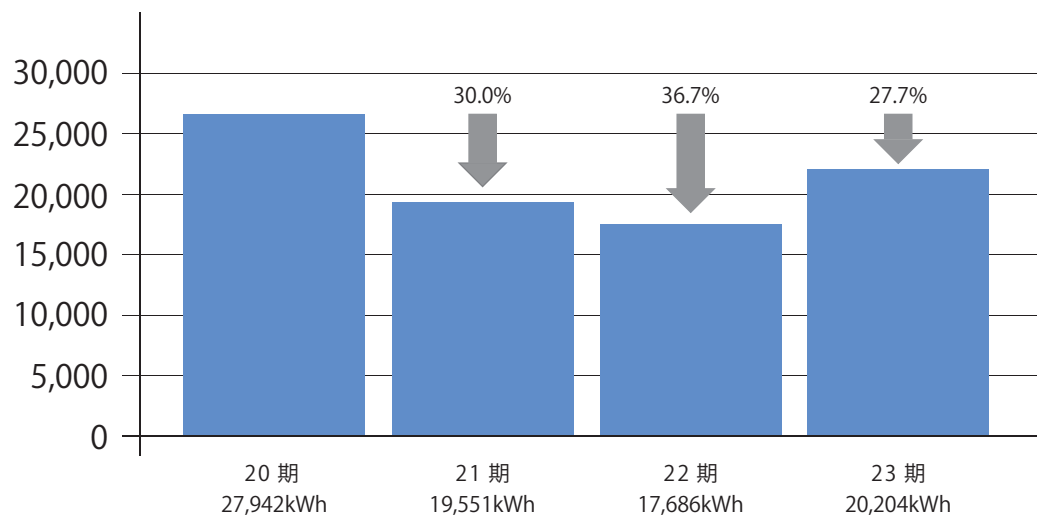
注記：弊社における経営年度 21 期：2010/10～2011/9 22 期：2011/10～2012/9 23 期：2012/10～2013/9



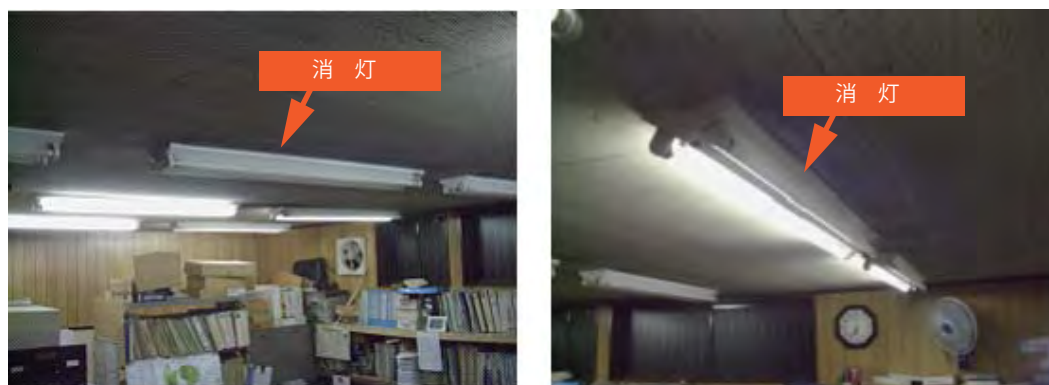
統計から見た取組みの実績

(1) 電力使用量

過去4年間の電力使用量推移。



- ① 酷暑により事務所内における冷房効果がないことで 2012 年 8 月に日除けテントの設置を行った。
これにより冷房効率を高めることができ、結果として節電に繋がった。



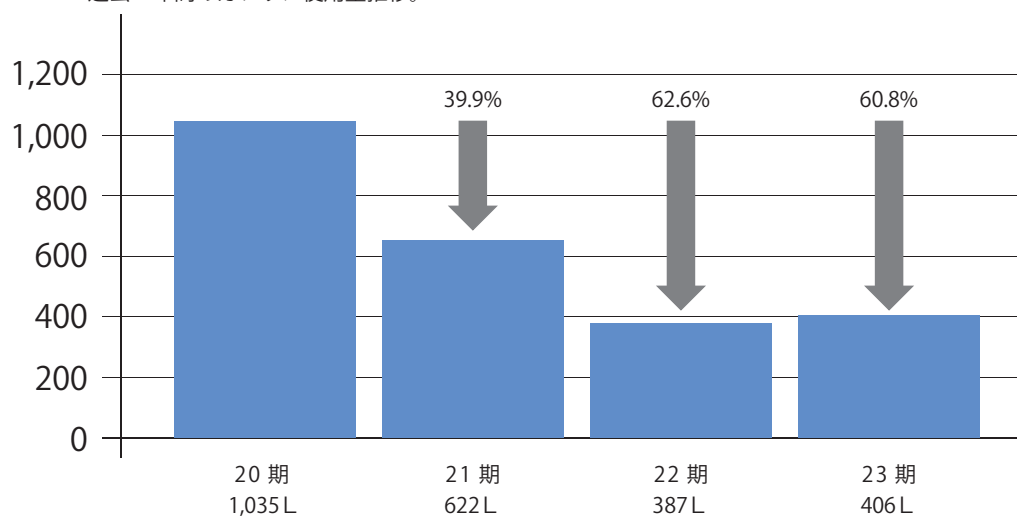
- ② 事務所内の蛍光灯を全灯から半減することを励行することで節電効果を上げることに努めた。
③ LED の設置を一部行うことにより節電効果をあげた。



③すべてのPC やスイッチに写真の様な Sticker を添付し、社員の節電意識の高揚および啓蒙に努めた。

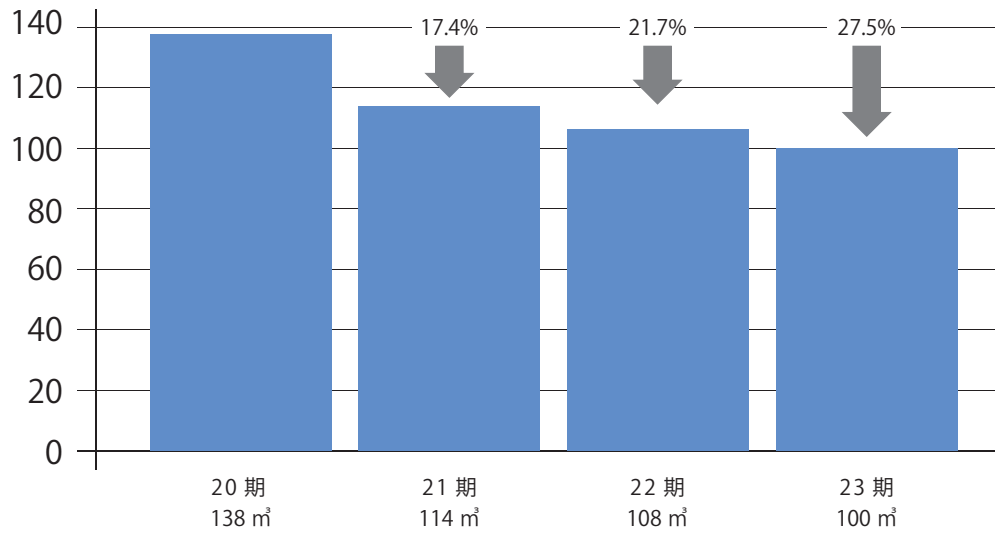
(2) ガソリン使用量

過去4年間のガソリン使用量推移。



(3) 水使用量

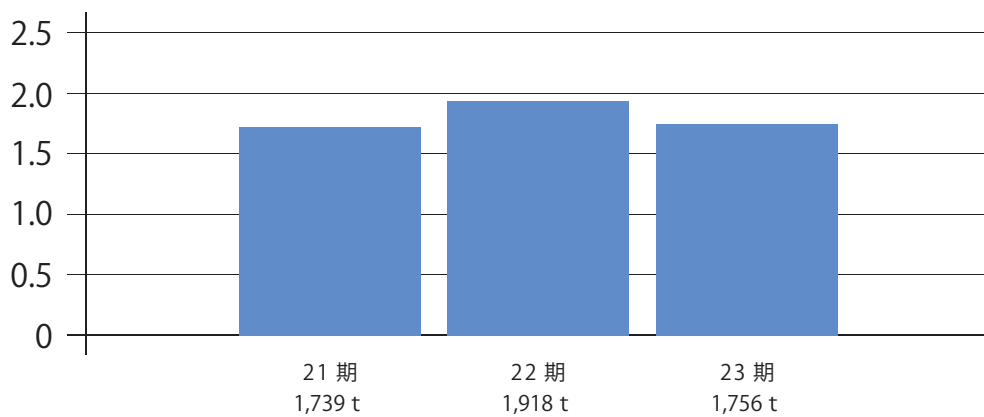
過去4年間の水使用量推移。



①トイレの水の節約の目的でタンクの中にペットボトルを投入し節水に努めた。

(4) 梱包材使用量

過去3年間の容器包装使用量推移。



環境活動における社員の声



■ 営業部社員・男性

事務所の中での快適温度とエコアクションにおける節電意識がなかなかマッチしなかったが、エコアクション21の活動を通して理解できるようになった。個人的にも極力、熱源を最小限に抑えることを努力したい。



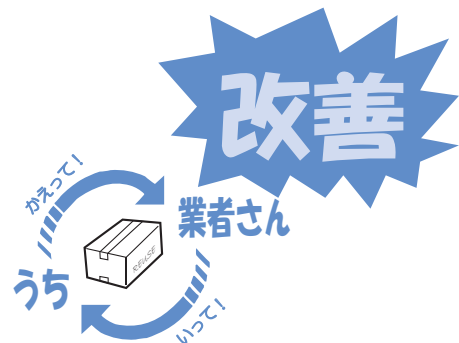
■ 製造部パート・女性

断熱効果の施されていない製造現場の中での真夏の組立作業は厳しいものがある。Eco Action21に協力はしたいが、作業現場の改善にも取り組んでほしい。

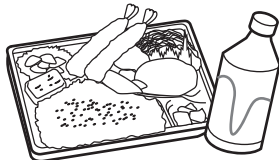


■ 製造部社員・男性

ごみ削減のために月毎の記録を取る中で、改善したいところがまだまだある。例えば、部材搬入時における業者からの輸送梱包のリユース等。引き続き改善に努めたい。



自分のゴミは お持ち帰り!



■ 製造部パート・女性

会社で発生するごみと自分たちが持ち込むごみ（弁当のプラスチックケースやペットボトル）を区別して、自分たちのごみは持ち帰るようにすればごみの削減に貢献できると思う。



■ 開発部・男性

ごみの分別を普段から心がけ、なおかつ一日の終わりにごみを集めることを行うことによって、どれだけのごみが発生しているのか認識できている。



■ 開発部・男性

天井の照明を2列全灯ではなく1列のみ使用することで電気の無駄を省けている。それによる作業効率の弊害も見当たらないので効果が上がっている。



■ 開発部・男性

LED ランプの導入によって電力使用を削減したかどうか。



■ 開発部・男性

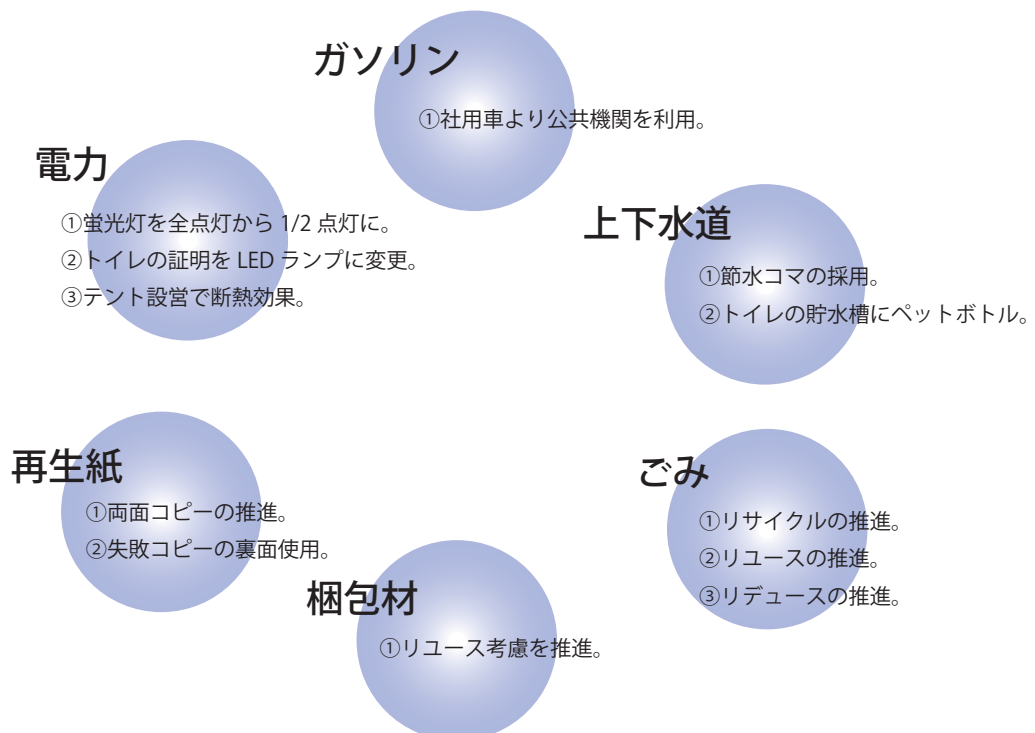
せっかく便座にヒータを入れているにも関わらず蓋を閉じていないケースがみられる。蓋を閉じることで電気の無駄を省ける。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価

23 期（2012 年 10 月から 2013 年 9 月まで）の評価

平成 23 年に Eco Action21 の認定を受けて丸 2 年が経過し平成 25 年 6 月にその更新をいたしました。会社としてこの活動が定着してきたという実感が持てた 1 年でした。一方で退社する者がいて交代要員を新たに採用したり、販売強化のために営業人員の強化を図るなどのため新規採用をして社員の移動がめまぐるしかった 1 年でもありました。そのことから新採用者に対しての Eco Action21 の理解を深めてもらうことも重要な 1 年でした。

- (1) 電力使用量については、弊社 22 期と同等目安を目標にしていたのですが、今夏の厳しい暑さのために逆に使用量の増加という結果になりました。事務所への一部 LED ランプを設置して使用量を抑える努力をしましたが、22 期に対して約 15%アップしました。22 期に対策を講じた窓際のテント設営による断熱は一定の効果ありという状況です。休憩時間中の消灯を時々忘れてしまうことや洋式トイレの蓋を閉じて節電を意識することを今後啓蒙していく必要を感じています。
- (2) ガソリンの使用量については 22 期実績同等が目標でしたので、これについては若干の増加となったものの概ね目標通りの結果となりました。
- (3) 上下水道の使用に関しては 22 期実績を目安としていましたので、結果としては更によくなりました。
- (4) 再生紙の購入削減については両面コピーが慣例化してきたことや失敗したコピーの裏面を使用したりして資源の削減がなされています。
- (5) 梱包材の使用に関してですが、これは販売の増減に常に比例していきますので、23 期は 22 期に比べて生産数量が少なかったこともあり、その使用量の減少を見ることが出来ました。
- (6) ごみの削減については 23 期初めて目標設定をしました。22 期実績に対して 7%の削減が目標でしたが、結果としては逆に 33%の増加になりました。部材納品先に納入後の梱包材等の持ち帰りをお願いしておりますが、更にこれを推進していかなければと思います。製造部と購買課との連携を図る必要を感じます。



次年度 24 期（2013 年 10 月～2014 年 9 月）までの取組み内容

■二酸化炭素		24 期目標	活動内容
電力 (KWh)	23 期実績対比	① 定期消灯：各部署にて時間を決めて消灯を実施。	
	5%削減目安 (19,194)	② 夏 ：エアコンの温度を下げすぎない。	
		③ 冬 ：エアコンの温度を上げすぎない。	
		④ PC ：未使用時 off にすることを励行。	
		⑤ コピー機：省エネ使用励行。	
灯油 (L)	-----	① 外気温度 10 度以下の時に原則ヒーター使用。	
ガソリン (L)	23 期実績対比	① 外出は極力公共機関を使用。	
	同等目安 (387)		
二酸化炭素 (kg)	23 期実績対比		
係数 0.425	5%削減目安 (9,054)		
■水			
上水 (㎡)	23 期実績対比	① 無駄の無い水使用励行。	
	同等目安 (100)		
下水 (㎡)	23 期実績対比	① トイレ使用時洗浄レバー使用徹底。	
	同等目安 (100)		
■資源			
購入品の削減			
再生紙 (kg)	23 期実績対比	① 両面コピーの励行。	
	同等目安 (240)	② 不必要な FAX のコピー化削減。	
		③ 再生紙の 100%使用。	
梱包材 (kg)	23 期実績対比	① リユースを考慮した梱包材使用推進。	
	同等目安 (1,756)		
グリーン購入の推進	100% 購入	① 環境対応商品マーク（エコマーク）の付いた商品を購入する。	
■廃棄物			
ごみ削減 (kg)	23 期実績対比	① リサイクル・リユース・リデュースの推進。	
	10%削減目安 (2,024)		
■環境保全			
RoHS 指令	100%遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進	① 現行 RoHS 対応部品の購入継続。	
		② 新製品導入時全て 100%RoHS 対応とする。	

注記：二酸化炭素排出係数は環境省が平成 20 年 12 月 19 日に公表した報道発表資料の中の東京電力の値をその計算出所としています。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規制違反の指摘及び訴訟の請求は過去4年以上ありません。

また地域住民などからの苦情は過去4年以上ありません。

●都民の健康と安全を確保する環境に関する条例

遵守

●廃棄物の処理および清掃に関する法律（廃掃法）

遵守

●家電リサイクル法

遵守

●RoHS 指令

遵守

苦情受付窓口

寺地辰己

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

Eco Action21 の登録から早いもので2年が経過し、活動そのものが軌道に乗ってきている感がある。社員一人一人が趣旨を理解し改善提案も都度出してきており、関心の度合いもわかるようになってきている。事務局としては出された提案を真摯に受け止め、費用対効果を勘案しながら実行に移してきているのは評価したい。

2013年も厳しい暑さで電力使用量の削減目標は達成できなかったが、これは弊社が借りている社屋の構造上の問題（断熱材を使用できない2階の建築構造）に起因し、どうしても製造現場において夏場のクーラー使用頻度が上がってしまうのは否めないことだと考えている。当面、この部分に対する効果的な対策は望めないもので、現状の取組施策（例えば休憩時の消灯や空調のOFF）を確実に実行して欲しい。

23期の結果を踏まえ、24期目標を電力に対しては23期実績の5%削減に挑戦することとする。またごみの削減についてはデータも揃ってきたこともあり、23期実績比10%削減を目標とすることとする。その他については23期同等に設定することとする。

次回の環境活動レポートは2014年10月30日頃の発行を予定しています。

2013年10月30日

代表取締役 山田 駿